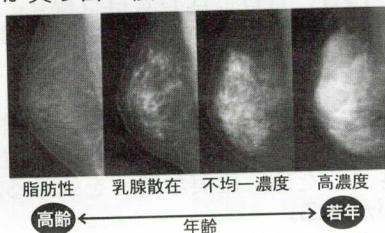


乳がんの早期発見のために

デンスブレストとは…

早期発見の障壁となる要因として、発達した乳腺構造により乳房領域が真っ白に覆われる「デンスブレスト」の課題が挙げられます。



デンスブレストは、日本を含むアジア人の乳房に高い頻度で見られ、50歳以下では80%近くもの女性に見られるというデータもあります。

マンモグラフィーと超音波の併用で、早期乳がんの発見率が約1.5倍になるという研究結果が2015年に発表されました。

当センターでは

最新式の「乳房用超音波画像診断装置」を導入しました。痛みが少なく、妊娠の可能性のある方でも検査をすることができます。デンスブレストの方が多い若い女性にも適した検査です。

検査日：月・火・金曜日の午前中
受付：大分医療センター放射線科



《連絡先》 国立病院機構 大分医療センター 地域医療連携室
大分市横田2丁目11番45号 TEL 097-593-1111(代) 内線712
FAX 097-528-9651(地域医療連携室)